

平成24年度 鞠智城跡「特別研究」採用者一覧(五十音順)

No.	申請者	所属	専門分野	研究テーマ	研究概要
1	オオタカ ヒロカズ 大高 広和	東京大学大学院 博士後期課程	文献史学	8世紀西海道における対外防衛政策のあり方と朝鮮式山城	・白村江の敗戦に伴う海外からの侵略の危機が去った8世紀以降もなぜ鞠智城が存続したのかを明らかにする研究。 ・7世紀と8世紀の対外/辺境防衛政策のあり方の違いの上に、鞠智城の位置づけの変化を読み取る分析を出土文字史料等の検討から行う。
2	サダキヨ セリ 貞清 世里	西南学院大学大学院 博士後期課程	考古学	肥後地域における鞠智城と古代寺院について	・肥後地域における古代寺院と鞠智城の関係性について明らかにする研究。 ・伽藍配置による古代寺院の分布展開、及び古代寺院、古代官道、そして鞠智城の位置関係等を分析する。
3	ツノ トモヒコ 津野 友彦	株式会社 修復技術システム (熊本大学大学院博士後期課程修了)	建築学	鞠智城及び大野城の建物の研究	・鞠智城と大野城における類似する基礎形状をもつ建物跡の寸法形状等から両城における建物の比較検討を行う研究。 ・建物の寸法形状等から、その形状の類似点・相違点、建築時期、存続時期等について分析する。
4	ハヤカワ ワカユ 早川 和賀子	九州大学大学院 博士後期課程	考古学	造瓦組織編成からみた肥後地域における地方支配展開に関する研究	・肥後において鞠智城、及び古代寺院がどのように造営されたのかを明らかにし、律令導入前後の地方への国家の関与の程度や労働力編成の様相を明らかにする研究。 ・瓦生産・供給の様相復元、及びGIS(地理情報システム)を用いた地理的検討を行う。
5	フルカワ ノブヒロ 古川 順大	九州大学大学院 博士後期課程	文献史学	鞠智城が肥後在地社会に与えた影響	・鞠智城が肥後国の社会や有力氏族に与えた影響を、8世紀における軍事制度の検討から明らかにする研究。 ・軍事制度上の国司・郡司・鞠智城の関係性について文献史料を中心として分析を行う。
6	ミヤカワ マキ 宮川 麻紀	東京大学大学院 博士後期課程	文献史学	鞠智城築城の背景 - 肥君の拠点と交通路の複眼的検討 -	・鞠智城の築城にあたり、肥後国菊池郡の地が選ばれた歴史的背景を明らかにする研究。 ・これまでの発掘調査等の成果から、鞠智城の立地を地理的条件から分析するとともに、肥後国の地方豪族である「肥君」の特性や勢力拡大の動きについて文献史料等から分析を行う。